

2016年度 道東地区問題解決手法研修会のご案内

- 開催日時 : 2016年10月14日(金) 9:30~16:00
- 開催地 : 十勝総合振興局 3階 講堂 (帯広市東3条南3丁目)
- 研修内容 : (1)基本講義「QC的問題解決の手順と進め方」・発表会優秀事例の紹介
(2)QC手法講義および演習
①パレート図 ②ブレインストーミング ③なぜなぜ解析 ④特性要因図・系統図
- 参加費 : 無 料
 (テキストは用意しますが
 昼食は自前をお願いします)
- 募集人員 : 30名 (先着順)
- 講 師: QCサークル北海道支部役員・幹事
- 申込期限 : 10月4日(火)



研修会の様子

【参加のお勧め】

本研修は、職場の第一線で活躍されている皆様を対象に、職場の問題解決・改善に役立つQCサークル活動の基礎を学びステップアップしていただく講座で、QCサークル北海道支部会員向けの教材を使用し、日本科学技術連盟認定のQCサークル指導士による研修会です。

短い時間ですが、座学だけではなく演習を取り入れて実際にQC手法を体験して頂きますので、より理解が深まり皆さんの職場における実践に活かせる有意義な内容となっております。

是非この機会にご参加いただきます様、ご案内申し上げます。

【研修内容】

	項 目	講 義 と 狙 い	備 考
(1) 基本講義	QCサークル活動事例発表・解説	支部大会優秀事例を使用しQC活動の感覚を掴んでもらう	ビデオによる改善事例聴講
	QC的問題解決の手順と進め方	「QC的なものの見方・考え方」を通して「問題解決の手順」、「QC手法」への理解を深める	講義
(2) QC手法講義・演習	①パレート図	パレート図の構成要素を理解し、活用方法を修得	講義
	②ブレインストーミング	アイデア発想法の1つである、ブレインストーミングの説明と演習	講義・グループ演習
	③なぜなぜ解析	特性要因図の重要要因導き出すために必要ななぜなぜ解析の基本講義	講義
	④特性要因図と系統図	まず特性・要因の考え方を理解し、演習で特性要因図の作成方法ならびに要因解析への活用方法を修得	講義・グループ演習



共催: QCサークル北海道支部
北海道

お問合せ先: 北海道庁 経済部人材育成課 川端

TEL:011-204-5098 FAX:011-232-1044 e-mail:keizai.jinzai1@pref.hokkaido.lg.jp

お申込は、別添参加申込書をFAX、e-mailで送付してください。

2016年度 道東地区問題解決手法研修プログラム

司会進行: QCサークル北海道支部 中野副世話人

開始時刻	分	研修内容	担 当
9:00~		受付	QCサークル北海道支部
9:30~	3	開会あいさつ	道庁経済部労働政策局人材育成課 産業人材グループ 川端 主任
9:33~	2	オリエンテーション	QCサークル北海道支部 中野副世話人 (株)ダイナックス
9:35~	20	QCサークル活動事例発表と解説	QCサークル北海道支部 中野副世話人 (株)ダイナックス
9:55~	60	基本講義「QC的問題解決の手順と進め方」	QCサークル北海道支部 甚野副幹事長 トヨタ自動車北海道(株)
10:55~	10	(休憩)	
11:05~	25	手法講義「パレート図」(講義のみ)	QCサークル北海道支部 羽生幹事 アイシン北海道(株)
11:30~	5	(アドバイザー紹介・テーブル準備・移動・自己紹介)	
11:35~	40	手法講義「ブレインストーミング」 班別演習 班代表による発表	QCサークル北海道支部 羽生幹事 アイシン北海道(株) アドバイザーによる助言
12:15~	45	(昼食・休憩)	
13:00~	30	なぜなぜ解析(講義のみ)	QCサークル北海道支部 中野副世話人 (株)ダイナックス
13:30~	120	手法講義「特性要因図」 班別演習	QCサークル北海道支部 岸浦幹事 (株)デンソー北海道 アドバイザーによる助言
15:30~	25	班代表による発表・解説	QCサークル北海道支部 岸浦幹事
15:55~	5	閉会あいさつ	QCサークル北海道支部 甚野副幹事長 トヨタ自動車北海道(株)
16:00		(アンケート提出し解散)	

<<これまでの参加者からの感想 >>

- ・ 問題点が把握しやすく改善に様々な意見を出すことができる。(福祉関係)
- ・ 問題解決に対する手段が増えたため具体的なアプローチができそう。(総務・経理担当)
- ・ 講習だけでなく演習があり職場での実践に活かせると思う。(開発設計担当)
- ・ 社内教育用として活用したい。
- ・ また、他業種の方と話し合いが持てて大変良かった。(自動車製造関係)
- ・ グラフや表による評価をすることで、見やすく理解しやすいと思いました。(看護関係)
- ・ データ化して分析することで客観的な事実をとらえることができる。(建設業)
- ・ 座学だけではなくグループ演習があったので、受け身にならず良かった。(製紙製造)
- ・ トラブル再発防止や作業効率向上にパレート図や特性要因図が利用できそう。(研究開発)

FAX :011-232-1044 または e-mail :keizaijinzai1@pref.hokkaido.lg.jp

2016年度 道東地区問題解決手法研修会 参加申込書

参加企業連絡先		会社名			
所在地	〒 _____			業種	
連絡者	所属		役職		氏名
電話	(_____)	FAX	(_____)	e-mail	
会社区分	賛助会社・幹事会社 (QCサークル北海道支部会員会社のみ記載)		従業員数		QCサークル数
今回の研修会の案内を何で御覧になってお知りになりましたか？		メルマガ(メルマガ名: _____) HP(どこのHP: _____) その他(_____)			

No.	(フリガナ)	所属・職位	担当業務
	参加者氏名		①製造 ②事務 ③サービス ④技術 ⑤医療福祉 ⑥その他
1	-----		
2	-----		
3	-----		
4	-----		
5	-----		

参加者数合計 : _____ 名

○お問合せ・お申込み先

北海道庁 経済部人材育成課 川端

TEL : 011-204-5098 e-mail : keizaijinzai1@pref.hokkaido.lg.jp

お気軽にお問合せ、お申し込み下さい(参加無料)

○申込期限 10月4日(火)

○申込書を受理しましたら、受付完了メール又はFAXを返送しております。

お申し込み後2日以上経過(土日祝日を除く)しても返信がない場合、不着の可能性がありますので、大変お手数ですが、再度ご連絡をお願いいたします。

○本申込書に記載された個人の情報につきましては、当研修会の運営及びQCサークルに関する情報提供のみに使用します。

※受講者の方に筆記用具・定規・電卓を持参するようにお伝え下さい